

財 務 諸 表 等

令 和 7 年 度
(第 2 2 期事業年度)

自：令和 7 年 4 月 1 日
至：令和 8 年 3 月 3 1 日

独立行政法人 国立病院機構

目 次

1. 貸借対照表	1
2. 行政コスト計算書	3
3. 損益計算書	4
4. 純資産変動計算書	8
5. キャッシュ・フロー計算書	9
6. 損失の処理に関する書類	1 1
7. 注記事項	1 2
8. 附属明細書	2 4
(1) 固定資産の取得、処分、減価償却費（「第87 特定の資産に係る費用相当額の会計処理」及び「第91 資産除去債務に係る特定の除去費用等の会計処理」による減価償却相当額も含む。）及び減損損失累計額の明細	
(2) 棚卸資産の明細	
(3) 有価証券の明細	
(4) 長期貸付金の明細	
(5) 長期借入金の明細	
(6) 引当金の明細	
(7) 貸付金等に対する貸倒引当金の明細	
(8) 退職給付引当金の明細	
(9) 資産除去債務の明細	
(10) 資本剰余金の明細	
(11) 運営費交付金以外の国等からの財源措置の明細	
(12) 役員及び職員の給与の明細	
(13) 科学研究費補助金の明細	
(14) 開示すべきセグメント情報	
(15) 関連公益法人の状況	
(16) 上記以外の主な資産、負債、費用及び収益の明細	
9. 添付資料	
(1) 決算報告書	3 4
(2) 監事の意見	3 9
(3) 会計監査人の意見	4 0
(4) 施設別財務書類	別冊 1
(5) 事業報告書	別冊 2

財 務 諸 表

貸 借 対 照 表
(令和8年3月31日)

【独立行政法人 国立病院機構】

(単位：円)

科 目	金 額			
資産の部				
I 流動資産				
現金及び預金		161,070,299,461		
有価証券		7,100,000,000		
医業未収金	182,623,035,547			
貸倒引当金	△ 505,482,191	182,117,553,356		
未収金		13,987,367,009		
医薬品		5,906,572,738		
診療材料		2,900,227,136		
給食用材料		102,154,150		
貯蔵品		714,900,384		
前払費用		281,681,605		
未収収益		116,244,449		
その他流動資産		1,005,670,053		
流動資産合計			375,302,670,341	
II 固定資産				
1 有形固定資産				
建物	988,565,154,016			
減価償却累計額	△ 592,819,024,761			
減損損失累計額	△ 7,584,322,763	388,161,806,492		
構築物	43,667,098,889			
減価償却累計額	△ 30,895,661,669			
減損損失累計額	△ 110,684,072	12,660,753,148		
医療用器械備品	340,311,508,294			
減価償却累計額	△ 264,330,407,615			
減損損失累計額	△ 30,321,050	75,950,779,629		
その他器械備品	74,447,195,704			
減価償却累計額	△ 56,291,735,427			
減損損失累計額	△ 10,001,906	18,145,458,371		
車両	1,621,597,426			
減価償却累計額	△ 1,437,851,107	183,746,319		
土地	465,883,856,823			
減損損失累計額	△ 34,051,262,678	431,832,594,145		
建設仮勘定		7,522,308,214		
その他有形固定資産		122,888,281		
有形固定資産合計		934,580,334,599		
2 無形固定資産				
特許権		69		
ソフトウェア		26,719,062,189		
電話加入権		193,012,180		
その他無形固定資産		43,827,972		
無形固定資産合計		26,955,902,410		
3 投資その他の資産				
長期定期預金		20,000,000,000		
投資有価証券		22,496,370,471		
長期貸付金		916,658,939		
破産更生債権等	2,114,418,599			
貸倒引当金	△ 2,114,418,599	0		
長期前払費用		89,149,347		
災害備蓄在庫		867,181,149		
その他投資資産		6,359,300		
投資その他の資産合計		44,375,719,206		
固定資産合計			1,005,911,956,215	
資産合計				1,381,214,626,556

【独立行政法人 国立病院機構】

(単位：円)

科 目		金 額		
負債の部				
Ⅰ 流動負債				
預り補助金等		2,702,042,300		
預り寄附金		841,193,859		
一年以内返済長期借入金		40,225,833,504		
買掛金		49,994,955,610		
未払金		84,606,821,238		
一年以内支払リース債務		22,351,560		
未払費用		83,287,351		
未払消費税等		578,355,471		
預り金		4,024,845,230		
前受収益		23,150,940		
引当金				
賞与引当金	32,017,099,025			
損害補償損失引当金	2,031,149,812	34,048,248,837		
一年以内履行資産除去債務		4,568,375		
その他流動負債		350,745,724		
流動負債合計			217,506,399,999	
Ⅱ 固定負債				
資産見返負債				
資産見返運営費交付金	247,322,957			
資産見返補助金等	30,198,463,132			
資産見返寄附金	1,826,344,917			
資産見返物品受贈額	72,881,114	32,345,012,120		
長期預り寄附金		58,140,715		
長期借入金		399,685,140,005		
長期未払金		95,719,786		
引当金				
退職給付引当金		278,147,357,789		
リース債務		87,164,880		
資産除去債務		26,325,066,938		
その他固定負債		6,405,499,395		
固定負債合計			743,149,101,628	
負債合計				960,655,501,627
純資産の部				
Ⅰ 資本金				
政府出資金		202,905,911,289		
資本金合計			202,905,911,289	
Ⅱ 資本剰余金				
資本剰余金		235,111,965,730		
その他行政コスト累計額				
減価償却相当累計額(－)	△ 7,625,459,423			
減損損失相当累計額(－)	△ 33,912,265,394			
除売却差額相当累計額(－)	△ 5,062,350,498	△ 46,600,075,315		
資本剰余金合計			188,511,890,415	
Ⅲ 利益剰余金				
前中期目標期間繰越積立金		74,037,860,669		
当期未処理損失		△ 44,896,537,444		
(うち当期総損失)	(	△ 1,590,173,775)		
利益剰余金合計			29,141,323,225	
純資産合計				420,559,124,929
負債純資産合計				1,381,214,626,556

行政コスト計算書

(令和7年4月1日～令和8年3月31日)

【独立行政法人 国立病院機構】

(単位：円)

科 目	金 額	
I 損益計算書上の費用		
診療業務費	1,106,369,792,944	
教育研修業務費	5,585,907,714	
臨床研究業務費	11,912,169,452	
一般管理費	9,648,013,735	
その他経常費用	8,550,362,254	
臨時損失	3,113,584,095	
損益計算書上の費用合計		1,145,179,830,194
II その他行政コスト		
減価償却相当額	287,441,159	
減損損失相当額	33,904,703,027	
除売却差額相当額	327,041,750	
その他行政コスト合計		34,519,185,936
III 行政コスト		1,179,699,016,130

損 益 計 算 書
(令和7年4月1日～令和8年3月31日)

【独立行政法人 国立病院機構】

(単位：円)

科 目	金 額			
経常収益				
I 診療業務収益				
医業収益				
入院診療収益	799,545,304,572			
室料差額収益	15,591,577,404			
外来診療収益	242,673,528,220			
保健予防活動収益	3,331,064,573			
その他医業収益	5,396,529,096			
保険等査定減(一)	△ 4,035,836,906	1,062,502,166,959		
運営費交付金収益				
資産見返運営費交付金戻入	37	37		
補助金等収益				
補助金等収益	26,342,551,335			
資産見返補助金等戻入	7,661,375,299	34,003,926,634		
寄附金収益				
寄附金収益	655,876,542	655,876,542		
資産見返物品受贈額戻入		48,763,887		
施設費収益		67,221,466		
その他診療業務収益		7,547,345,623		
診療業務収益合計			1,104,825,301,148	
II 教育研修業務収益				
看護師等養成所収益		2,690,387,541		
研修収益		73,395,614		
運営費交付金収益				
資産見返運営費交付金戻入	3,313,933	3,313,933		
補助金等収益				
補助金等収益	758,152,778			
資産見返補助金等戻入	6,885,362	765,038,140		
寄附金収益				
寄附金収益	1,685,687	1,685,687		
その他教育研修業務収益		40,506,799		
教育研修業務収益合計			3,574,327,714	
III 臨床研究業務収益				
研究収益		7,261,822,050		
運営費交付金収益				
資産見返運営費交付金戻入	23,142,926	23,142,926		
補助金等収益				
補助金等収益	765,250,212			
資産見返補助金等戻入	112,546,031	877,796,243		
寄附金収益				
寄附金収益	201,163,514			
資産見返寄附金戻入	36,330,370	237,493,884		
その他臨床研究業務収益		39,135,345		
臨床研究業務収益合計			8,439,390,448	
IV その他経常収益				
財務収益				
受取利息	728,060,333	728,060,333		
土地建物等貸付料収入		1,653,127,541		
宿舍貸付料収入		608,837,410		
運営費交付金収益				
資産見返運営費交付金戻入	102,932,841	102,932,841		
補助金等収益				
補助金等収益	581,789,308			
資産見返補助金等戻入	2,989,994	584,779,302		
寄附金収益				
寄附金収益	621,000	621,000		
その他経常収益		14,016,492,798		
その他経常収益合計			17,694,851,225	
経常収益合計				1,134,533,870,535

【独立行政法人 国立病院機構】

(単位：円)

科 目	金 額			
経常費用				
Ⅰ 診療業務費				
給与費				
給料	373,410,151,645			
賞与	63,111,977,624			
賞与引当金繰入額	27,220,128,128			
退職給付費用	51,404,231,431			
法定福利費	30,404,646,132	545,551,134,960		
材料費				
医薬品費	203,138,792,621			
診療材料費	96,963,228,558			
医療消耗器具備品費	4,439,262,023			
給食用材料費	13,396,492,585	317,937,775,787		
委託費				
検査委託費	7,901,103,815			
給食委託費	14,380,156,690			
寝具委託費	2,091,410,715			
医事委託費	14,758,189,533			
清掃委託費	5,936,491,001			
保守委託費	5,977,068,021			
その他の委託費	25,453,588,471	76,498,008,246		
設備関係費				
減価償却費	65,567,646,730			
修繕費	8,885,959,947			
器機賃借料	17,477,889,884			
地代家賃	591,564,866			
固定資産税等	387,272,002			
器機保守料	25,682,044,504			
器機設備保険料	218,816,405			
車両関係費	115,974,034			
P F I 費用	4,218,162	118,931,386,534		
研究研修費				
経費		315,465,142		
福利厚生費	426,779,833			
旅費交通費	1,789,721,287			
通信費	2,133,046,572			
消耗品費	6,165,836,696			
消耗器具備品費	4,462,207,069			
水道光熱費	24,246,753,522			
患者諸費	1,583,924,291			
租税公課	2,128,814,609			
医業貸倒損失	4,028,717			
貸倒引当金繰入額	322,528,178			
低価法評価損	48,114,836			
その他	3,824,266,665	47,136,022,275		
診療業務費合計			1,106,369,792,944	
Ⅱ 教育研修業務費				
看護師等養成所運営費				
給与費				
給料	2,134,507,235			
賞与	425,660,209			
賞与引当金繰入額	177,860,238			
退職給付費用	318,248,098			
法定福利費	180,157,225	3,236,433,005		
経費				
福利厚生費	1,902,318			
臨床実習協力費	38,161,211			
旅費交通費	42,723,394			
通信費	27,763,951			
消耗品費	79,614,207			
消耗器具備品費	86,112,842			
生徒関連諸費	81,278,585			
奨学費	163,061,100			
水道光熱費	163,873,452			
減価償却費	574,251,875			
その他	402,319,594	1,661,062,529		

【独立行政法人 国立病院機構】

(単位：円)

科 目	金 額			
研修活動費				
給与費				
給料	108,728,236			
賞与	19,311,265			
賞与引当金繰入額	8,404,432			
退職給付費用	10,604,368			
法定福利費	13,506,168	160,554,469		
経費				
福利厚生費	469,272			
旅費交通費	101,658,104			
通信費	16,243,767			
消耗品費	19,556,159			
消耗器具備品費	5,707,019			
水道光熱費	77,007,254			
減価償却費	128,633,045			
その他	178,583,091	527,857,711		
教育研修業務費合計			5,585,907,714	
Ⅲ 臨床研究業務費				
給与費				
給料	4,683,706,831			
賞与	855,956,210			
賞与引当金繰入額	329,901,642			
退職給付費用	466,340,655			
法定福利費	444,651,667	6,780,557,005		
材料費				
医薬品費	357,445,007			
研究材料費	133,361,109			
研究用消耗器具備品費	123,650,069	614,456,185		
経費				
福利厚生費	69,301,516			
旅費交通費	472,249,730			
通信費	221,269,948			
消耗品費	208,709,579			
消耗器具備品費	479,563,757			
水道光熱費	229,267,939			
委託費	1,363,405,244			
減価償却費	532,480,639			
その他	940,907,910	4,517,156,262		
臨床研究業務費合計			11,912,169,452	
Ⅳ 一般管理費				
給与費				
給料	1,826,324,367			
役員報酬	84,327,061			
賞与	388,472,435			
賞与引当金繰入額	183,707,370			
退職給付費用	430,155,325			
法定福利費	163,939,489	3,076,926,047		
経費				
福利厚生費	9,107,452			
旅費交通費	118,409,488			
通信費	22,399,669			
消耗品費	32,501,447			
消耗器具備品費	1,386,283,348			
水道光熱費	32,145,048			
賃借料	9,805,496			
租税公課	24,109,270			
減価償却費	66,092,432			
その他	4,870,234,038	6,571,087,688		
一般管理費合計			9,648,013,735	

【独立行政法人 国立病院機構】

(単位：円)

科 目	金 額			
V その他経常費用				
減価償却費		1,567,292,809		
財務費用				
支払利息	1,544,782,755			
支払手数料	519,043,402	2,063,826,157		
その他経常費用		4,919,243,288		
その他経常費用合計			8,550,362,254	
経常費用合計				1,142,066,246,099
経常損失				△ 7,532,375,564
臨時利益				
固定資産売却益			42,309,234	
その他臨時利益			9,013,476,650	9,055,785,884
臨時損失				
固定資産除却損			740,475,379	
固定資産減損損失			850,600,388	
損害補償損失引当金繰入額			392,755,990	
賠償金等負担額			495,622,989	
その他臨時損失			634,129,349	3,113,584,095
当期純損失				△ 1,590,173,775
当期総損失				△ 1,590,173,775

純 資 産 変 動 計 算 書
(令和7年4月1日～令和8年3月31日)

【独立行政法人 国立病院機構】

	I 資本金		II 資本剰余金					III 利益剰余金（又は繰越欠損金）				純資産合計	
	政府出資金	資本金 合計	資本剰余金	その他行政コスト累計額			資本剰余金 合計	前中期目標期間 繰越積立金	積立金	当期末処分 利益（又は当期 未処理損失）	うち当期 総利益（又は 当期総損失）		利益剰余金 （又は繰越欠損 金）合計
				減価償却相当 累計額 （－）	減損損失相当 累計額 （－）	除売却差額 相当累計額 （－）							
当期首残高	202,905,911,289	202,905,911,289	234,878,744,196	△ 7,424,724,503	△ 7,562,367	△ 4,648,602,509	222,797,854,817	74,037,860,669	0	△ 43,306,383,669	－	30,731,497,000	456,435,263,106
当期変動額													
I 資本金の当期変動額													
II 資本剰余金の当期変動額													
固定資産の取得			233,221,534				233,221,534						233,221,534
固定資産の除売却				86,706,239		△ 413,747,989	△ 327,041,750						△ 327,041,750
減価償却				△ 287,441,159			△ 287,441,159						△ 287,441,159
固定資産の減損					△ 33,904,703,027		△ 33,904,703,027						△ 33,904,703,027
III 利益剰余金（又は繰越欠損金）の 当期変動額（純額）													
（1）利益の処分又は損失の処理													
（2）その他													
当期純損失										△ 1,590,173,775	△ 1,590,173,775	△ 1,590,173,775	△ 1,590,173,775
当期変動額合計	0	0	233,221,534	△ 200,734,920	△ 33,904,703,027	△ 413,747,989	△ 34,285,964,402	0	0	△ 1,590,173,775	△ 1,590,173,775	△ 1,590,173,775	△ 35,876,138,177
当期末残高	202,905,911,289	202,905,911,289	235,111,965,730	△ 7,625,459,423	△ 33,912,265,394	△ 5,062,350,498	188,511,890,415	74,037,860,669	0	△ 44,896,537,444	△ 1,590,173,775	29,141,323,225	420,559,124,929

(単位：円)

キャッシュ・フロー計算書
(令和7年4月1日～令和8年3月31日)

【独立行政法人 国立病院機構】

(単位：円)

科 目	金 額
I 業務活動によるキャッシュ・フロー	
診療業務活動によるキャッシュ・フロー	
医業収入	1,058,616,633,179
補助金等収入	26,757,111,707
補助金等の精算による返還金の支出	△ 1,690,514
寄附金収入	692,646,433
その他の収入	8,173,292,687
人件費支出	△ 529,114,913,910
材料の購入による支出	△ 315,121,474,829
その他の業務支出	△ 174,584,866,439
小計	75,416,738,314
教育研修業務活動によるキャッシュ・フロー	
看護師等養成による収入	2,502,356,718
研修による収入	91,564,042
補助金等収入	615,475,605
寄附金収入	971,438
その他の収入	182,527,269
人件費支出	△ 3,339,013,927
その他の業務支出	△ 1,366,419,902
小計	△ 1,312,538,757
臨床研究業務活動によるキャッシュ・フロー	
研究による収入	7,450,084,412
補助金等収入	803,373,807
寄附金収入	112,505,178
その他の収入	156,456,241
人件費支出	△ 6,664,642,200
材料の購入による支出	△ 649,886,700
その他の業務支出	△ 4,371,284,041
小計	△ 3,163,393,303
その他の業務活動によるキャッシュ・フロー	
補助金等収入	820,088,655
寄附金収入	591,000
その他の収入	12,743,082,591
人件費支出	△ 26,937,556,443
その他の業務支出	△ 16,397,406,202
小計	△ 29,771,200,399
利息の受取額	687,541,194
利息の支払額	△ 1,524,686,792
業務活動によるキャッシュ・フロー	40,332,460,257
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の戻入による収入	48,000,000,000
定期預金の預入による支出	△ 103,000,000,000
有価証券の償還による収入	363,500,000,000
有価証券の取得による支出	△ 288,100,000,000
有形固定資産の売却による収入	286,233,403
有形固定資産の取得による支出	△ 39,968,027,461
無形固定資産の取得による支出	△ 10,845,850,166
施設費による収入	300,443,000
資産除去債務の履行による支出	△ 1,051,164,593
貸付金の回収による収入	70,006,000
貸付金による支出	△ 350,442,016
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 31,158,801,833

【独立行政法人 国立病院機構】

(単位：円)

科 目	金 額
Ⅲ 財務活動によるキャッシュ・フロー	
長期借入れによる収入	49,000,000,000
長期借入金の返済による支出	△ 39,568,960,818
リース債務償還による支出	△ 58,550,432
PFI債務償還による支出	△ 48,610,537
財務活動によるキャッシュ・フロー	<u>9,323,878,213</u>
Ⅳ 資金増加額	18,497,536,637
Ⅴ 資金期首残高	<u>87,572,762,824</u>
Ⅵ 資金期末残高	<u><u>106,070,299,461</u></u>

損失の処理に関する書類

【独立行政法人 国立病院機構】

(単位：円)

科 目	金 額		
I 当期末処理損失			△44,896,537,444
当期総損失	△1,590,173,775		
前期繰越欠損金	△43,306,363,669		
II 次期繰越欠損金			△44,896,537,444

注 記 事 項

I. 重要な会計方針

1. 減価償却の会計処理方法

(1) 有形固定資産（リース資産を除く）

定額法を採用しております。

なお、主な資産の耐用年数は以下のとおりであります。

建 物	2 ～ 47 年
構築物	2 ～ 68 年
医療用器械備品	2 ～ 20 年
その他器械備品	2 ～ 20 年
車 両	2 ～ 7 年

また、特定の償却資産（独立行政法人会計基準第 87 第 1 項）の減価償却に相当する額については、減価償却相当累計額として資本剰余金から控除して表示しております。

(2) 無形固定資産（リース資産を除く）

定額法を採用しております。

なお、法人内利用ソフトウェアについては、法人内における利用可能期間（5 年）に基づいております。

(3) リース資産

リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法によっております。

2. 賞与引当金の計上基準

役員に対して支給する業績年俸及び職員に対して支給する賞与に備えるため、当事業年度に負担すべき支給見込額を計上しております。

3. 退職給付に係る引当金の計上基準及び退職給付費用の処理方法

役職員の退職給付に備えるため、役員については独立行政法人国立病院機構役員退職手当規程に基づく期末要支給額を、また、職員については当該事業年度末における退職給付債務及び恩給制度期間を有する退職職員の負担金である整理資源に関する債務の見込額に基づき計上しております。

退職給付債務の算定にあたり、退職給付見込額を当事業年度末までの期間に帰属させる方法については給付算定式基準によっております。

過去勤務費用は、その発生時の職員の平均残存勤務期間以内の一定の年数(10 年)による定額法により費用処理しております。

数理計算上の差異は、各事業年度の発生時における職員の平均残存勤務期間以内の一定の年数(9 年)による定額法により按分した額をそれぞれ発生の翌事業年度から費用処理しております。

4. 貸倒引当金の計上基準

債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上しております。

5. 損害補償損失引当金の計上基準

医療賠償等による損害賠償金の支払に備えるため、個別に発生可能性を検討し、その経過等の状況に基づき損失負担見込額を計上しております。

6. 有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的債券については、償却原価法によっております。

7. 棚卸資産の評価基準及び評価方法

(1) 医薬品

最終仕入原価法に基づく低価法

(2) 診療材料

最終仕入原価法に基づく低価法

(3) 給食用材料

最終仕入原価法に基づく低価法

(4) 貯蔵品

金券類は個別法、その他は最終仕入原価法に基づく低価法

8. 収益及び費用の計上基準

医業収益は、主に入院及び外来診療に係る収益であり、診療行為を提供する履行義務を負っております。当該履行義務は、継続的に役務を提供していることから一定の期間にわたり充足されると判断し、診療行為の提供に応じて収益を認識しております。

9. 消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は、税込方式によっております。

II. 重要な会計方針の変更

(固定資産の減損の処理方法)

令和8年3月27日に「独立行政法人国立病院機構の業務運営、財務及び会計並びに人事管理に関する省令（平成16年厚生労働省令第77号）」が改正されました。当該改正に伴い、当事業年度より、固定資産の減損の処理方法について、固定資産の減損に係る会計基準（「固定資産の減損に係る会計基準の設定に関する意見書」（企業会計審議会平成14年8月9日））及び「固定資産の減損に係る会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第6号 最終改正 平成21年3月27日）（以下「変更前の会計方針」という。）に代わり、「固定資産の減損に係る独立行政法人会計基準」及び「固定資産の減損に係る独立行政法人会計基準注解」（令和2年3月26日改訂）並びに「『固定資産の

減損に係る独立行政法人会計基準』及び『固定資産の減損に係る独立行政法人会計基準注解』に関するQ&A」（令和4年3月改訂）（以下「変更後の会計方針」という。）が適用されております。

この省令改正は、①新型コロナウイルス感染症の感染拡大下において、厚生労働大臣からの要求により、感染症病床の確保や医療従事者の派遣、臨時医療施設の運営等を実施したこと、②令和4年の「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律（平成10年10月2日法律第114号）」の改正により、都道府県との間で医療措置協定の締結を義務付けられたこと、③昨今の物価上昇、賃金上昇の影響に伴う費用増や患者減少等に伴う収益減が生じていること、④令和7年の「医療法（昭和23年7月30日法律第205号）」の改正により、新たな地域医療構想の検討が始まることといった経営環境の変化等を契機に行われたものです。

この変更により、減損損失相当累計額は、変更前の会計方針によった場合には計上されない一方、変更後の会計方針では33,904,703,027円が計上され、この結果、資本剰余金が同額減少しております。また、固定資産減損損失は、変更前の会計方針によった場合には398,182,140,331円となる一方、変更後の会計方針では850,600,388円が計上され、この結果、当期純損失が397,331,539,943円減少しております。

Ⅲ. 会計上の見積りの変更

（資産除去債務の見積りの変更）

当事業年度において、当機構の所有する建物の解体時におけるアスベストの除去費用として計上していた資産除去債務について、直近の除去実績等、新たな情報が入手されたことに伴い、会計上の見積りの変更を行いました。

この見積りの変更により資産除去債務残高が12,525,058,073円減少し、当事業年度の経常損失が11,200,928,713円、当期純損失が12,675,904,672円減少しております。

Ⅳ. 貸借対照表

その他行政コスト累計額のうち、出資を財源に取得した資産に係る金額

△21,586,860,364円

Ⅴ. 行政コスト計算書

1. 独立行政法人の業務運営に関して国民の負担に帰せられるコスト

行政コスト	1,179,699,016,130円
自己収入等	△1,107,008,466,599円
機会費用	<u>17,916,766,052円</u>
独立行政法人の業務運営に関して	
国民の負担に帰せられるコスト	<u>90,607,315,583円</u>

2. 機会費用の計上方法

(1) 国又は地方公共団体財産の無償又は減額された使用料による貸借取引の機会費用の計算方法

近隣の地代や賃貸料等を参考に計算しております。

(2) 政府出資又は地方公共団体出資等の機会費用の計算に使用した利率

10年利付国債の令和8年3月末利回りを参考に2.345%で計算しております。

(3) 国又は地方公共団体からの無利子又は通常よりも有利な条件による融資取引から生ずる機会費用の計算に使用した利率

10年利付国債の令和8年3月末利回りを参考に2.345%で計算しております。

VI. 損益計算書

1. 国又は地方公共団体からの受託による収益の科目別内訳

① その他診療業務収益	736,501,525 円
② 研修収益	3,624,660 円
③ 研究収益	460,000 円
④ その他経常収益	7,608,900 円
合 計	<u>748,195,085 円</u>

2. 固定資産売却益の内訳

① 医療用器械備品	39,344,189 円
② その他器械備品	1,133,658 円
③ 車 両	1,831,387 円
合 計	<u>42,309,234 円</u>

3. 固定資産売却損の内訳

① 建物	3,709,331 円
② 建物附属設備	35,341 円
③ 構築物	1,737,351 円
④ その他器械備品	57,370,378 円
⑤ 車両	3,997,593 円
合 計	<u>66,849,994 円</u>

4. 固定資産減損損失

(1) 減損を認識した固定資産

①愛媛医療センター他 16 件

ア 減損を認識した固定資産の用途、種類、場所、帳簿価額等の概要

用途 病院用地及び宿舍用地

場所 愛媛県東温市横河原 366 他

種類及び帳簿価額 土地 帳簿価額 57,268,422,029 円

イ 減損の認識に至った経緯

市場価格が著しく下落したため、減損を認識しております。

ウ 減損額のうち損益計算書に計上した金額と計上していない金額の主要な固定資産ごとの内訳

種類	損益計算書に計上した金額	損益計算書に計上していない金額
土地	—	33,904,703,027 円

エ 回収可能サービス価額

正味売却価額（不動産鑑定評価額等）により算定しております。

②南九州病院他 14 件

ア 減損を認識した固定資産の用途、種類、場所、帳簿価額等の概要

用途 職員宿舍等

場所 鹿児島県始良市加治木町木田 1882 他

種類及び帳簿価額 建物 帳簿価額 67,929,998 円

イ 減損の認識に至った経緯

固定資産の全部につき、使用しないという決定を行ったため、減損を認識しております。

ウ 減損額のうち損益計算書に計上した金額と計上していない金額の主要な固定資産ごとの内訳

種類	損益計算書に計上した金額	損益計算書に計上していない金額
建物	65,912,837 円	—

エ 回収可能サービス価額

売却見込みがないため使用価値相当額により算定しております。その全部につき今後の使用が想定されていないため、備忘価額まで帳簿価額を減額しております。

③南和歌山医療センター

ア 減損を認識した固定資産の用途、種類、場所、帳簿価額等の概要

用途 採血業務支援システム用 PC

場所 和歌山県田辺市たきない町 27 番 1 号

種類及び帳簿価額 医療用器械備品 帳簿価額 1,290,671 円

イ 減損の認識に至った経緯

固定資産の全部につき、使用しないという決定を行ったため、減損を認識しております。

ウ 減損額のうち損益計算書に計上した金額と計上していない金額の主要な固定資産ごとの内訳

種類	損益計算書に計上した金額	損益計算書に計上していない金額
医療用 器械備品	1,290,670 円	—

エ 回収可能サービス価額

売却見込みがないため使用価値相当額により算定しております。その全部につき今後の使用が想定されていないため、備忘価額まで帳簿価額を減額しております。

④沼田病院

ア 減損を認識した固定資産の用途、種類、場所、帳簿価額等の概要

用途 病院

場所 群馬県沼田市上原町 1551-4

種類及び帳簿価額 建物 帳簿価額 1,109,627,411 円

イ 減損の認識に至った経緯

令和8年6月1日で廃止することが決定し、固定資産が使用されている範囲又は方法について当該資産の使用可能性を著しく低下させる変化が生じているため、減損を認識しています。

ウ 減損額のうち損益計算書に計上した金額と計上していない金額の主要な固定資産ごとの内訳

種類	損益計算書に計上した金額	損益計算書に計上していない金額
建物	783,396,881 円	—

エ 回収可能サービス価額

売却見込みがないため使用価値相当額により算定しております。使用価値相当額は、当該資産の帳簿価額に、当該資産につき使用が想定されていない部分以外の部分の割合を乗じて算出した価額を用いております。

(2) 減損の兆候が認められた固定資産（減損を認識した場合を除く）

該当なし

(3) 独立行政法人自らが固定資産の全部又は一部につき使用しないという決定を行った場合であって、その決定が翌事業年度以降の特定の日以後使用しないという決定である固定資産

①沼田病院

ア 使用しないという決定を行った固定資産の用途、種類、場所等の概要

用途 病院及び医療機器等

種類 建物、構築物、医療用器械備品、その他器械備品、ソフトウェア

場所 群馬県沼田市

イ 使用しなくなる日 令和8年6月1日

ウ 使用しないという決定を行った経緯及び理由

沼田病院については、今後の患者数や医師確保の見通し及びこれまでの経営状況等から、将来にわたって医療機能を維持し、病院運営を継続していくことが困難な状況にあり、令和8年6月1日をもって廃止することを決定しました。よって、上記廃止日をもって当該病院における固定資産の全部を使用しないことを決定しました。

エ 将来使用しなくなる日における帳簿価額、回収可能サービス価額及び減損の見込額

帳簿価額 1,170,116,109 円

回収可能サービス価額及び減損額の見込み額は、算定が困難なため記載しておりません。

5. その他臨時利益の内訳

① 賠償金等の受入	6,699,905,134 円
② 資産除去債務の見積り変更による収益	1,445,140,506 円
③ その他	868,431,010 円
合 計	<u>9,013,476,650 円</u>

6. その他臨時損失の内訳

① 固定資産の売却・処分に係る費用	68,161,084 円
② 災害損失費用（地震被害関係経費等）	62,322,185 円
③ 所得税の誤徴収に係る返金	51,010,437 円
④ その他	452,635,643 円
合 計	<u>634,129,349 円</u>

VII. キャッシュ・フロー計算書

1. 資金の期末残高と貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

現金及び預金勘定	<u>161,070,299,461 円</u>
現金及び預金勘定のうち定期預金	<u>55,000,000,000 円</u>
資金期末残高	<u>106,070,299,461 円</u>

2. 重要な非資金取引

該当事項はありません。

VIII. オペレーティング・リース取引

1. 貸借対照表日後一年以内のリース期間に係る未経過リース料	19,371,660 円
2. 貸借対照表日後一年を超えるリース期間に係る未経過リース料	23,669,140 円

IX. 金融商品関係

1. 金融商品の状況に関する事項

当機構は、資金運用については預金、公債及び合同運用指定金銭信託に限定し、また、資金調達については財政融資資金からの借入及び財投機関債の発行によっております。

診療報酬債権に係る回収リスクは、収入管理事務要領等に沿ってリスク低減を図っております。また、有価証券は、独立行政法人通則法第47条の規定等に基づき、公債、政府保証債及び合同運用指定金銭信託のみを保有することとし株式等は保有しておりません。

借入金等の使途は事業投資資金であり、主務大臣により認可された資金計画に沿って、資金調達を行っております。

2. 金融商品の時価等に関する事項

期末日における貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次のとおりであります。なお、市場価格のない株式等は、次表には含めておりません。また、現金は注記を省略しており、預金、医業未収金、有価証券(譲渡性預金、合同運用指定金銭信託)、買掛金及び未払金は短期間で決済されるため時価が帳簿価額に近似することから、注記を省略しております。

(単位：百万円)

区 分	貸借対照表 計 上 額	時 価	差 額
(1) 有価証券	29,596	29,155	△ 441
満期保有目的債券	29,596	29,155	△ 441
(2) 長期借入金	(439,910)	(396,596)	(△ 43,314)
(3) リース債務	(109)	(105)	(△ 4)

(注1)負債に計上されているものは()で示しております。

(注2)時価の算定に用いた評価技法及びインプットの説明

金融商品の時価を、時価の算定に用いたインプットの観察可能性及び重要性に応じて、以下の三つのレベルに分類しております。

レベル1の時価： 同一の資産又は負債の活発な市場における（無調整の）相場価格により算定した時価

レベル2の時価： レベル1のインプット以外の直接又は間接的に観察可能なインプットを用いて算定した時価

レベル3の時価： 重要な観察できないインプットを使用して算定した時価
時価の算定に重要な影響を与えるインプットを複数使用している場合には、

それらのインプットがそれぞれ属するレベルのうち、時価の算定における優先順位が最も低いレベルに時価を分類しております。

(1) 有価証券

満期保有目的債券の時価については、取引所の価格又は取引金融機関から提示された価格によっております。

(2) 長期借入金、(3) リース債務

これらの時価については、元利金の合計額を同様の新規借入を行った場合に想定される利率で割り引いて算定しており、レベル2の時価に分類しております。

なお、リース債務の貸借対照表計上額は利子を含んでおります。

X. 退職給付引当金

1. 採用している退職給付制度の概要

当機構は役職員の退職給付に充てるため、退職一時金制度を設けております。

2. 退職給付債務の期首残高と期末残高の調整表

期首における退職給付債務	221,805,443,358 円
勤務費用	17,425,676,686 円
利息費用	3,768,679,714 円
数理計算上の差異の当期発生額	5,630,744,619 円
退職給付の支払額	<u>△ 19,831,861,250 円</u>
期末における退職給付債務	<u>228,798,683,127 円</u>

3. 退職給付債務と貸借対照表に計上された退職給付引当金の調整表

退職給付債務	228,798,683,127 円
未認識過去勤務費用 (注)	9,785,418,371 円
未認識数理計算上の差異	18,312,734,499 円
整理資源負担金	<u>21,250,521,792 円</u>
退職給付引当金	<u>278,147,357,789 円</u>

(注) 平成31年1月25日、令和7年3月24日および令和7年3月25日に同退職手当規程等の改正がなされたため、過去勤務費用が発生しております。

4. 退職給付に関連する損益

勤務費用	17,425,676,686 円
利息費用	3,768,679,714 円
過去勤務費用の当期の費用処理額	<u>△ 1,633,772,998 円</u>
数理計算上の差異の当期の費用処理額	<u>△ 4,184,919,100 円</u>
退職給付費用	<u>15,375,664,302 円</u>

(注) 上記退職給付費用以外に共済組合負担金等の退職給付費用として、
37,252,304,629 円を計上しております。

5. 数理計算上の計算の基礎に関する事項

期末における主要な数理計算上の計算基礎 (加重平均で表している。)

割引率 1.7%

X I. 資産除去債務関係

1. 資産除去債務の概要

当機構は、所有する建物の解体時におけるアスベストの除去費用、医療用器械備品等の廃棄時における放射性同位元素及び放射化物の除去費用及び契約に基づく土壤汚染対策費用につき資産除去債務を計上しております。

2. 資産除去債務の金額の算定方法

資産除去債務の見積りにあたり、取得時からの使用見込期間を有形固定資産の耐用年数を参考に2年から47年と見積っております。割引率は当該期間を勘案し、使用見込期間に見合う財政投融资及び国債の利回りを参考に算定しており、0.003%から2.672%となっております。

3. 当事業年度における資産除去債務の総額の増減

期首残高	40,192,621,812 円
有形固定資産の取得等に伴う増加額	8,642,587 円
時の経過による調整額	485,637,302 円
資産の除去等による履行額	△ 1,251,698,704 円
見積りの変更による増減額	△ 13,105,567,684 円
期末残高	26,329,635,313 円

4. 資産除去債務の見積りの変更

当事業年度において、当機構の所有する建物の解体時におけるアスベストの除去費用として計上していた資産除去債務について、直近の除去実績等、新たな情報が入手されたことに伴い、会計上の見積りの変更を行いました。

この見積りの変更により資産除去債務残高が12,525,058,073 円減少し、当事業年度の経常損失が11,200,928,713 円、当期純損失が12,675,904,672 円減少しております。

X II. 不要財産に係る国庫納付関係

該当事項はありません。

XⅢ. 重要な債務負担行為

該当事項はありません。

XⅣ. 収益認識関係

当法人は、以下に記載する内容を除き、独立行政法人会計基準第 86 における収益に重要性が乏しいため、注記を省略しております。

(1) 収益の分解情報

当法人は医療の提供、医療に関する調査及び研究並びに技術者の研修等の事業を実施しており、独立行政法人会計基準第 86 を適用する取引に係る主なサービス等の種類と収益の額は、医業収益 1,062,502,166,959 円であります。

(2) 収益を理解するための基礎となる情報

「重要な会計方針に係る事項に関する注記」の「収益及び費用の計上基準」に記載のとおりであります。

(3) 当該事業年度及び翌事業年度以降の収益の金額を理解するための情報

重要性が乏しいため記載を省略しております。

XⅤ. 重要な後発事象

該当事項はありません。

XVI. その他独立行政法人の状況を適切に開示するために必要な会計情報
独立行政法人固有の会計処理に伴う科目は、以下のとおりです。

- (1) 預り補助金等
- (2) 預り寄附金
- (3) 資産見返負債
- (4) 長期預り寄附金
- (5) その他行政コスト累計額
- (6) 減価償却相当額
- (7) 除売却差額相当額
- (8) 前中期目標期間繰越積立金
- (9) 運営費交付金収益
- (10) 補助金等収益
- (11) 寄附金収益
- (12) 資産見返物品受贈額戻入
- (13) 施設費収益
- (14) 減損損失相当額

財 務 諸 表

(附 属 明 細 書)

1. 固定資産の取得、処分、減価償却費（「第87 特定の資産に係る費用相当額の会計処理」及び「第91 資産除去債務に係る特定の除去費用等の会計処理」による減価償却相当額も含む。）及び減損損失累計額の明細

(単位:円)

資産の種類	期首 残高	当期 増加額	当期 減少額	期末 残高	減価償却累計額		減損損失累計額		差引当期 末残高	摘要
					当期償却額	前期償却額	当期減損額	前期減損額		
有形固定 資産(減 価償却 費)	建物	974,832,669,640	12,319,622,784	977,778,006,421	586,116,493,361	29,218,041,068	7,577,871,173	849,309,718	384,083,641,887	
	構築物	42,350,251,718	766,837,260	42,678,413,972	29,985,991,760	1,337,079,928	109,573,295	0	12,582,848,917	
	医療用器械備品	334,047,590,255	22,367,642,973	340,311,508,294	264,330,407,615	24,285,890,671	30,321,050	1,290,670	75,950,779,629	
	その他器械備品	73,164,579,630	6,070,416,996	74,407,344,704	56,278,477,313	5,636,689,843	10,001,906	0	18,118,865,485	
	車両	1,561,203,590	90,674,211	1,621,597,426	1,437,851,107	74,009,798	0	0	183,746,319	
有形固定 資産(減価 償却相当 額)	その他有形固定資産	14,236,676	20,960,430	26,003,930	3,555,049	2,807,123	0	0	22,448,881	
	計	1,425,970,531,509	41,636,154,654	1,436,822,874,747	938,152,776,205	60,554,518,431	7,727,767,424	850,600,388	490,942,331,118	
	建物	10,658,692,017	215,621,534	10,787,147,595	6,702,531,400	269,193,920	6,451,590	0	4,078,164,605	
	構築物	988,684,917	0	988,684,917	909,669,909	9,809,946	1,110,777	0	77,904,231	
	その他器械備品	39,851,000	0	39,851,000	13,258,114	8,437,293	0	0	26,592,886	
非償却資 産	計	11,687,227,934	215,621,534	11,815,683,512	7,625,459,423	287,441,159	7,562,367	0	4,182,661,722	
	土地	467,032,639,337	3,098,175	465,883,856,823	—	—	—	—	431,832,594,145	
	建設仮勘定	1,055,443,796	7,574,481,819	7,522,308,214	—	—	—	0	7,522,308,214	
	その他有形固定資産	100,439,400	0	100,439,400	—	—	0	0	100,439,400	
	計	468,188,522,533	7,577,579,994	473,506,604,437	—	—	34,051,262,678	33,904,703,027	439,455,341,759	
有形固定 資産合計	建物	985,491,361,657	12,535,244,318	988,565,154,016	592,819,024,761	29,487,234,988	7,584,322,763	849,309,718	388,161,806,492	
	構築物	43,338,936,635	766,837,260	43,667,098,889	30,895,661,669	1,346,889,874	110,684,072	0	12,660,753,148	
	医療用器械備品	334,047,590,255	22,367,642,973	340,311,508,294	264,330,407,615	24,285,890,671	30,321,050	1,290,670	75,950,779,629	
	その他器械備品	73,204,430,630	6,070,416,996	74,447,195,704	56,291,735,427	5,645,127,136	10,001,906	0	18,145,458,371	
	車両	1,561,203,590	90,674,211	1,621,597,426	1,437,851,107	74,009,798	0	0	183,746,319	
無形固定 資産	土地	467,032,639,337	3,098,175	465,883,856,823	—	—	—	—	431,832,594,145	
	建設仮勘定	1,055,443,796	7,574,481,819	7,522,308,214	—	—	—	0	7,522,308,214	
	その他有形固定資産	114,676,076	20,960,430	126,443,330	3,555,049	2,807,123	0	0	122,888,281	
	計	1,905,846,281,976	49,429,356,182	1,922,145,162,696	945,778,235,628	60,841,959,590	41,786,592,469	34,755,303,415	934,580,334,599	
	特許権	120	4	124	55	15	0	0	69	
投資その 他の資産	ソフトフェア	75,730,834,139	11,429,248,846	82,339,627,171	55,620,564,982	7,875,660,063	0	0	26,719,062,189	
	電話加入権	198,196,120	0	197,332,120	—	—	4,319,940	0	193,012,180	
	その他無形固定資産	92,846,943	0	92,846,943	49,018,971	6,219,021	0	0	43,827,972	
	計	76,021,877,322	11,429,248,850	82,629,806,358	55,669,584,008	7,881,879,099	4,319,940	0	26,955,902,410	
	長期定期預金	20,000,000,000	0	20,000,000,000	—	—	—	—	20,000,000,000	
投資その 他の資産	投資有価証券	19,494,476,805	10,101,893,666	22,496,370,471	—	—	—	—	22,496,370,471	
	長期貸付金等	948,124,796	350,442,016	916,658,939	—	—	—	—	916,658,939	
	破産更生債権等	1,945,885,923	491,209,604	2,114,418,599	—	—	—	—	2,114,418,599	
	貸倒引当金	△ 1,945,885,923	△ 292,981,878	△ 2,114,418,599	—	—	—	—	△ 2,114,418,599	
	長期前払費用	84,825,912	58,356,627	89,149,347	—	—	—	—	89,149,347	
	災害備蓄在庫	820,813,552	535,302,551	867,181,149	—	—	—	—	867,181,149	
	その他投資資産	6,464,000	651,800	6,359,300	—	—	—	—	6,359,300	
	計	41,354,705,065	11,244,874,386	44,375,719,206	—	—	—	—	44,375,719,206	

2. 棚卸資産の明細

種 類		期首残高	当期増加額		当期減少額		期末残高	摘 要
			当期購入・ 製造・振替	払出・振替	その他			
医薬品		5,940,770,234	203,479,441,425	203,496,237,628	17,401,293	5,906,572,738	注	
診療材料		2,688,761,082	97,338,769,264	97,096,589,667	30,713,543	2,900,227,136	注	
給食用材料		101,695,302	13,396,951,433	13,396,492,585	0	102,154,150		
貯蔵品		703,698,653	20,294,563,190	20,283,361,459	0	714,900,384		
計		9,434,925,271	334,509,725,312	334,272,681,339	48,114,836	9,623,854,408		

(注) 当期減少額のその他は、低価法による評価損によるものです。

3. 有価証券の明細

(1) 流動資産として計上された有価証券

満 期 保 有 目 的 債 券	種 類 及 び 銘 柄	取得価額	券面総額	貸借対照表計上額	当期費用に含まれた 評価差額	摘 要
	財投機関債	7,100,000,000	7,100,000,000	7,100,000,000	0	
	貸借対照表計上額 合計			7,100,000,000		

(2) 投資その他の資産として計上された有価証券

満 期 保 有 目 的 債 券	種 類 及 び 銘 柄	取得価額	券面総額	貸借対照表計上額	当期費用に含まれた 評価差額	摘 要
	地方債	1,600,000,000	1,600,000,000	1,600,000,000	0	
	財投機関債	18,600,000,000	18,600,000,000	18,600,000,000	0	
	政府保証債	2,294,319,000	2,300,000,000	2,296,370,471	0	
	貸借対照表計上額 合計			22,496,370,471		

4. 長期貸付金の明細

区 分	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高	摘 要
			回収額	償却額		
奨学金貸与等	1,015,002,310	350,442,016	70,006,000	315,710,205	979,728,121	注
計	1,015,002,310	350,442,016	70,006,000	315,710,205	979,728,121	

(注) 1. 当期減少額のうち「償却額」は独立行政法人国立病院機構奨学金貸与規程第11条による返還免除額及び回収不能による償却額です。

2. 一年以内回収長期貸付金(期末残高63,069,182円)を含めております。

5. 長期借入金の明細

区 分	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	平均利率(%)	返済期限	摘 要
財政融資資金	430,479,934,327	49,000,000,000	39,568,960,818	439,910,973,509	0.46%	令和8年9月20日 ～令和38年3月20日	
計	430,479,934,327	49,000,000,000	39,568,960,818	439,910,973,509			

6. 引当金の明細

区 分	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高	摘 要
			目的使用	その他		
賞与引当金	30,991,819,766	32,017,099,025	30,991,819,766	0	32,017,099,025	
損害補償損失引当金	2,098,982,246	392,755,990	460,588,424	0	2,031,149,812	
計	33,090,802,012	32,409,855,015	31,452,408,190	0	34,048,248,837	

(単位:円)

7. 貸付金等に対する貸倒引当金の明細

区 分	貸付金等の残高		貸倒引当金の残高		摘 要
	期首残高	当期増減額	期末残高	当期増減額	
医業未収金	179,103,904,579	3,519,130,968	182,623,035,547	485,186,331	505,482,191
一般債権	179,103,904,579	3,519,130,968	182,623,035,547	485,186,331	505,482,191 注1
未収金	8,166,496,549	5,820,870,460	13,987,367,009	0	0
一般債権	8,166,496,549	5,820,870,460	13,987,367,009	0	0
破産更生債権等	1,945,885,923	168,532,676	2,114,418,599	1,945,885,923	2,114,418,599
破産更生債権等	1,945,885,923	168,532,676	2,114,418,599	1,945,885,923	2,114,418,599 注2
計	189,216,287,051	9,508,534,104	198,724,821,155	2,431,072,254	2,619,900,790

(単位:円)

(注)1. 一般債権については、貸倒実績率により、回収不能見込額を計上しております。
2. 破産更生債権等(発生から1年以上経過した医業未収金及び未収金)については、個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上しております。

8. 退職給付引当金の明細

区 分	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	摘 要
退職給付債務合計額	247,678,556,150	26,825,101,019	24,454,452,250	250,049,204,919	
退職一時金に係る債務	221,805,443,358	26,825,101,019	19,831,861,250	228,798,683,127	
整理資産負担金に係る債務	25,873,112,792	0	4,622,591,000	21,250,521,792	
未認識過去勤務費用及び未認識数理計算上の差異	39,547,589,587	△ 5,630,744,619	5,818,692,098	28,098,152,870	
退職給付引当金	287,226,145,737	21,194,356,400	30,273,144,348	278,147,357,789	

(単位:円)

9. 資産除去債務の明細

区 分	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	摘 要
労働安全衛生法等に基づく債務	38,994,902,505	4,443,028,709	17,356,529,024	26,081,402,190 注	
特定放射線性廃棄物の最終処分に関する法律等に基づく債務	240,988,383	8,834,965	1,590,225	248,233,123 注	
契約に基づく債務	956,730,924	6,475,309	963,206,233	0 注	
計	40,192,621,812	4,458,338,983	18,321,325,482	26,329,635,313	

(単位:円)

(注)資産除去債務に対応する除去費用等については、独立行政法人会計基準第91の特定はされておりません。

10. 資本剰余金の明細

区 分	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	摘 要
施設費	37,108,553,952	233,221,534	0	37,341,775,486 注	
補助金等	13,314,944,759	0	0	13,314,944,759	
目的積立金	84,319,126,612	0	0	84,319,126,612	
減資差益	5,382,262,991	0	0	5,382,262,991	
その他	94,753,855,882	0	0	94,753,855,882	
計	234,878,744,196	233,221,534	0	235,111,965,730	

(単位:円)

(注)当期増加額は、心神喪失者等医療観察法指定医療機関施設整備費負担金を財源とした資産の増加によるものです。

11. 運営費交付金以外の国等からの財源措置の明細

(1) 施設費の明細

区 分	当期交付額	左の会計処理内訳			摘要
		建設仮勘定 見返施設費	資本剰余金	その他	
心神喪失者等医療観察法指定入院医療機関施設整備費負担金	300,443,000	0	233,221,534	67,221,466	
計	300,443,000	0	233,221,534	67,221,466	

(2) 補助金等の明細

区 分	当期交付額	左の会計処理内訳				摘要
		建設仮勘定 見返補助金等	資産見返 補助金等	資本剰余金	収益計上	
[厚生労働省]アレルギー疾患医療提供体制整備事業費補助金	35,764,000	0	0	0	35,764,000	
[厚生労働省]オンライン資格確認等の導入に必要な資格確認端末の購入等に係る補助金	11,590,539	0	6,835,000	0	4,755,539	
[厚生労働省]がん診療連携拠点病院機能強化事業補助金	360,582,000	0	0	0	360,582,000	
[厚生労働省]キャリアアップ助成金	7,472,000	0	0	0	7,472,000	
[厚生労働省]マイナ保険証利用促進のための利用勧奨の取組に係る助成金	56,846	0	0	0	56,846	
[厚生労働省]依存症に関する調査研究事業費補助金	155,623,000	0	2,546,500	0	153,076,500	
[厚生労働省]依存症対策全国拠点機関設置運営事業費補助金	73,011,000	0	0	0	73,011,000	
[厚生労働省]医療機関等における買上げ・物価上昇に対する支援事業費補助金	12,989,177,978	0	29,172,000	0	12,960,005,978	
[厚生労働省]医療現場におけるAI技術等を活用した業務効率化の効果検証等事業補助金	6,007,683	0	0	0	6,007,683	
[厚生労働省]医療施設運営費等補助金	880,524,484	0	97,901,273	0	782,623,211	
[厚生労働省]医療提供体制施設整備費補助金	149,960,000	0	2,007,000	0	147,953,000	
[厚生労働省]感染症予防事業費等国庫負担(補助)金	252,287,000	0	31,464,434	0	220,822,566	
[厚生労働省]看護師特定行為研修支援事業費補助金	25,253,000	0	0	0	25,253,000	
[厚生労働省]自殺未遂者等支援拠点医療機関整備事業費補助金	1,475,000	0	0	0	1,475,000	
[厚生労働省]社会福祉施設等施設整備費補助金	2,014,000	0	2,014,000	0	0	
[厚生労働省]授業料等減免交付金	147,110,400	0	0	0	147,110,400	
[厚生労働省]心神喪失者等医療観察法指定入院医療機関医療評価・向上事業費補助金	2,546,000	0	0	0	2,546,000	
[厚生労働省]心神喪失者等医療観察法指定入院医療機関運営費負担金	129,929,160	0	8,624,000	0	121,305,160	
[厚生労働省]電子処方箋の機能拡充の促進事業補助金	9,016,000	0	5,742,000	0	3,274,000	
[厚生労働省]電子処方箋管理サービスの導入に必要な端末の購入等に係る補助金	53,954,722	0	32,746,000	0	21,208,722	
[厚生労働省]独立行政法人国立病院機構運営費補助金	1,053,215,226	0	137,859,156	0	915,356,070	
[厚生労働省]独立行政法人国立病院機構施設整備費補助金	5,146,364,236	0	1,756,194,214	0	3,390,170,022	
[厚生労働省]保健衛生施設等施設・設備整備費国庫補助金	603,000	0	0	0	603,000	
[厚生労働省]慢性疼痛診療システム均てん化等事業費補助金	8,314,000	0	0	0	8,314,000	
[厚生労働省]免疫アレルギー疾患患者に係る治療と仕事の両立支援モデル事業費補助金	4,900,000	0	0	0	4,900,000	
[厚生労働省]臨床研修費等補助金	53,320,000	0	0	0	53,320,000	
[北海道外5県]CTを活用した循環器病医療連携ネットワーク構築事業補助金	10,293,000	0	0	0	10,293,000	
[北海道外28府県]院内保育所事業運営費補助金	162,407,000	0	0	0	162,407,000	
[北海道外20府県]看護師等養成所運営事業費補助金	397,356,500	0	2,699,180	0	394,657,320	
[北海道外12都県]救急勤務医・産科医等確保支援事業費補助金	42,823,000	0	0	0	42,823,000	
[北海道外44都府県]勤務環境改善支援事業費補助金	2,031,548,000	0	394,760,755	0	1,636,787,245	
[北海道]子ども・子育て支援事業補助金	4,349,000	0	0	0	4,349,000	
[北海道外37都府県]新人看護職員研修事業費補助金	60,792,000	0	313,000	0	60,479,000	
[北海道外3県]地域救急医療支援事業費補助金	5,230,000	0	0	0	5,230,000	

(単位:円)

区 分	当期待付額	左の会計処理内訳				摘要
		建設仮勘定 見返補助金等	資産見返 補助金等	資本剰余金	収益計上	
[北海道外3都府県]保健衛生施設等施設・設備整備費国庫補助金	24,360,000	0	24,189,000	0	171,000	
[北海道外12府県]防災訓練等参加支援事業補助金	3,421,000	0	0	0	3,421,000	
[北海道外33都府県]臨床研修費等補助金	531,478,711	0	0	0	531,478,711	
[青森県外4府県]災害医療対策事業費補助金	10,679,000	0	7,883,000	0	2,796,000	
[青森県外15府県]周産期母子医療センター運営費補助金	413,667,000	0	0	0	413,667,000	
[青森県外7県]新興感染症対応力強化事業補助金	82,091,000	0	79,582,645	0	2,508,355	
[青森県外3県]認定看護師養成支援事業費補助金	1,205,000	0	0	0	1,205,000	
[岩手県外10県]社会福祉施設等光熱費等高騰対策支援事業補助金	108,067,800	0	0	0	108,067,800	
[宮城県トクターヘーへリバックボード返送事務費支援補助金	52,360	0	0	0	52,360	
[宮城県外1県]トクターヘーリバックボード返送事務費支援補助金	12,413,000	0	10,958,000	0	1,455,000	
[宮城県トクターヘーリバックボード返送事務費支援補助金	353,643,000	0	0	0	353,643,000	
[宮城県外2県]救急患者退院コーディネート事業補助金	6,289,000	0	0	0	6,289,000	
[宮城県外5府県]原子力災害医療施設等整備事業補助金	30,340,258	0	0	0	30,340,258	
[宮城県外15府県]地域医療介護総合確保基金事業補助金	316,151,000	0	115,862,000	0	200,289,000	
[宮城県外17府県]電子処方箋の活用・普及促進事業補助金	20,512,000	0	5,454,000	0	15,058,000	
[宮城県外18府県]病床機能分化・再編推進基盤整備事業補助金	2,037,864,000	0	0	0	2,037,864,000	
[宮城県外27都府県]物価高騰対策支援補助金	678,715,963	0	0	0	678,715,963	
[山形県外2県]日中一時支援事業運営費補助金	9,012,000	0	0	0	9,012,000	
[福島県外8県]医療提供体制施設整備費補助金	294,837,000	0	67,113,543	0	227,723,457	
[福島県外8県]看護職員等確保対策事業等補助金	6,549,000	0	0	0	6,549,000	
[茨城県外3県]DMAT運営費補助金(インストラクター養成事業補助金)	586,651	0	0	0	586,651	
[茨城県外1県]がん専門医療従事者育成推進事業	852,000	0	0	0	852,000	
[茨城県外6都府県]医療施設等施設整備費補助金	134,701,148	0	102,943,471	0	31,757,677	
[茨城県]救急医療未回収医療費補てん補助金	2,991,075	0	0	0	2,991,075	
[茨城県外5県]救命救急センター運営費補助金	303,178,000	0	0	0	303,178,000	
[茨城県外4県]救命救急センター設備整備事業費補助金	68,965,000	0	68,965,000	0	0	
[茨城県]協働推進研修事業補助金	1,269,000	0	0	0	1,269,000	
[茨城県外10県]周産期医療施設設備整備事業補助金	194,114,000	0	56,449,000	0	137,665,000	
[茨城県外4都府県]地域災害拠点病院施設整備費補助金	17,791,000	0	14,278,000	0	3,513,000	
[茨城県]病院等放射線防護対策維持管理補助金	1,434,400	0	0	0	1,434,400	
[栃木県外7県]感染症指定医療機関運営事業費補助金	70,408,000	0	7,953,550	0	62,454,450	
[栃木県外3府県]在宅医療普及促進事業補助金	11,340,160	0	0	0	11,340,160	
[栃木県]年末年始救急患者受入促進事業費補助金	1,240,000	0	0	0	1,240,000	
[群馬県外2県]オンライン資格確認のための医療機関システム改修事業費補助金	775,323	0	0	0	775,323	
[群馬県外3府県]がん診療連携拠点病院等機能強化事業補助金	23,900,300	0	0	0	23,900,300	
[群馬県]こどもの安心・安全対策支援事業費補助金	54,000	0	0	0	54,000	
[群馬県外3県]へき地医療拠点病院運営費補助金	19,538,000	0	12,836,000	0	6,702,000	
[群馬県外9県]医療施設等施設運営費補助金	187,924,000	0	30,035,500	0	157,888,500	
[群馬県外10県]看護師特定行為研修支援事業費補助金	7,969,000	0	0	0	7,969,000	
[埼玉県外3都府県]DMAT整備事業費補助金	5,788,000	0	4,554,000	0	1,234,000	
[埼玉県外2県]女性医師等就労支援事業補助金	7,278,000	0	0	0	7,278,000	
[埼玉県]転院コーディネート事業補助金	3,241,000	0	0	0	3,241,000	
[埼玉県外2県]搬送困難事例受入医療機関支援事業補助金	15,988,000	0	0	0	15,988,000	

区 分	当期交付額	左の会計処理内訳				摘要
		建設仮勘定 見返補助金等	資産見返 補助金等	資本剰余金	収益計上	
[千葉県外2都県]こどもの家族の付添い等に関する環境改善事業費補助金	747,030	0	0	0	747,030	
[千葉県外7県]小児救急医療支援事業補助金	95,984,000	0	6,578,000	0	89,406,000	
[東京都外1府]NBC災害・テロ対策設備事業にかける補助金	39,839,000	0	36,188,900	0	3,650,100	
[東京都外5府県]医師確保促進支援事業補助金	9,920,000	0	0	0	9,920,000	
[東京都]休日・全夜間診療事業施設整備費補助金	4,728,000	0	4,728,000	0	0	
[東京都]東京都協定締結医療機関施設・設備整備費補助金	10,505,000	0	10,505,000	0	0	
[東京都外5府県]分娩手当等支給事業費補助金	28,778,000	0	0	0	28,778,000	
[神奈川県外1府]看護実習受入拡充事業費補助金	41,000	0	0	0	41,000	
[神奈川県外4府県]看護補助者処遇改善事業補助金	48,127,000	0	1,540,000	0	46,587,000	
[神奈川県外2県]病院経営強化緊急支援補助金	76,396,000	0	0	0	76,396,000	
[新潟県外2県]重症難病患者拠点・協力病院設備整備費補助金	18,731,000	0	16,346,000	0	2,385,000	
[新潟県外1県]保育施設等における性被害防止対策支援事業費補助金	63,000	0	0	0	63,000	
[富山県]感染症予防事業費補助金	905,000	0	0	0	905,000	
[富山県外1府]認知症疾患医療センター運営事業費補助金	7,114,000	0	0	0	7,114,000	
[福井県外1県]医療機関等省エネ投資支援事業費補助金	3,933,000	0	0	0	3,933,000	
[福井県]重症心身障がい児者と家族のための在宅生活サポート事業補助金	2,102,560	0	0	0	2,102,560	
[福井県]嶺南地域急性期医療体制強化事業補助金	79,238,000	0	76,972,351	0	2,265,649	
[長野県]自殺対策強化事業補助金	150,000	0	0	0	150,000	
[長野県外1県]障害児施設等入所者支援事業費補助金	268,800	0	0	0	268,800	
[長野県]地域医療人材拠点病院支援事業補助金	4,495,000	0	0	0	4,495,000	
[岐阜県外2府県]医療型短期入所支援強化事業補助金	8,268,840	0	0	0	8,268,840	
[静岡県]食事業養提供体制確保事業支援金	632,000	0	0	0	632,000	
[愛知県]新型インフルエンザ等患者入院医療機関等整備事業	98,496,000	0	0	0	98,496,000	
[三重県外1県]キャリアアップ支援事業補助金	346,000	0	0	0	346,000	
[三重県外1県]救急救命士病院実習受入促進事業補助金	1,250,000	0	0	0	1,250,000	
[滋賀県]障害福祉施設支援事業費補助金	9,039,000	0	9,039,000	0	0	
[京都府]在宅療養あんしん病院等支援事業補助金	130,000	0	0	0	130,000	
[京都府]周産期医療ネットワーク基盤整備事業費補助金	172,000	0	0	0	172,000	
[京都府外1県]小児慢性特定疾病重症患児等療養生活支援事業補助金	12,289,000	0	0	0	12,289,000	
[大阪府]外国人患者受入れ医療機関整備事業補助金	100,000	0	0	0	100,000	
[大阪府]緩和ケア人材養成事業補助金	824,000	0	0	0	824,000	
[大阪府]緩和ケア普及啓発事業補助金	186,000	0	0	0	186,000	
[大阪府外1県]救急搬送患者受入促進事業費補助金	12,729,000	0	297,000	0	12,432,000	
[大阪府外2県]私立専修学校授業目的公衆送信補償金補助金	1,424,328	0	0	0	1,424,328	
[兵庫県外2県]医療的ケア児等医療提供体制確保事業補助金	15,737,100	0	464,000	0	15,273,100	
[奈良県外1県]看護職員の資質向上支援事業補助金	2,357,000	0	0	0	2,357,000	
[和歌山県外1県]がん診療施設設備整備事業費補助金	29,075,000	0	26,102,000	0	2,973,000	
[和歌山県]こどもの重大事故防止対策事業費補助金	198,000	0	0	0	198,000	
[和歌山県]肝疾患診療連携拠点病院事業費補助金	6,252,000	0	0	0	6,252,000	
[島根県外1県]結核予防費補助金	55,689	0	0	0	55,689	
[広島県外1県]新生児聴覚検査体制整備事業補助金	9,297,000	0	9,297,000	0	0	
[広島県]大規模地震時医療活動訓練における事業	364,000	0	0	0	364,000	
[香川県]高度・専門医療人材養成支援事業費補助金	475,000	0	0	0	475,000	

区 分	当期交付額	左の会計処理内訳				摘要
		建設仮勘定 見返補助金等	資産見返 補助金等	資本剰余金	収益計上	
[福岡県]在宅難病患者一時入院事業補助金	2,996,000	0	0	0	2,996,000	
[福岡県]小児等地域療育支援病院運営事業費補助金	32,361,000	0	3,124,000	0	29,237,000	
[長崎県]ドクターヘリ運用事業補助金	17,917,000	0	0	0	17,917,000	
[熊本県]医師少数区域における認定医師の勤務推進事業補助金	470,000	0	0	0	470,000	
[熊本県]共同利用施設設備整備事業補助金	27,584,000	0	27,584,000	0	0	
[熊本県]病院群輪番制病院運営事業補助金	7,662,000	0	7,662,000	0	0	
[大分県]医療関連機器導入推進事業費補助金	284,000	0	0	0	284,000	
[札幌市外1市]認知症疾患医療センター運営事業費補助金	11,635,000	0	0	0	11,635,000	
[函館市外3市町]二次救急医療体制維持交付金	19,075,000	0	0	0	19,075,000	
[旭川市外14市町]院内保育施設運営費補助金	19,120,384	0	0	0	19,120,384	
[弘前市外25市]病院群輪番制病院運営事業補助金	219,524,397	0	14,011,000	0	205,513,397	
[盛岡市外2市]救急医療体制整備補助金	45,389,918	0	11,127,000	0	34,262,918	
[盛岡市外11市町]在宅重症心身障がい児等の家族に対するレスパイトケア事業補助金	6,951,900	0	0	0	6,951,900	
[盛岡市外8市町]小児救急医療支援事業補助金	86,449,374	0	0	0	86,449,374	
[花巻市外26市町]物価高騰対策支援補助金	91,456,410	0	0	0	91,456,410	
[花巻市外1市]保育士等処遇改善臨時特例事業補助金	5,000,000	0	0	0	5,000,000	
[仙台市外2市]結核予防費補助金	119,254	0	0	0	119,254	
[山元町外8市]救急医療体制運営費補助金	69,808,120	0	1,848,000	0	67,960,120	
[宇都宮市外5市]保育所等給食支援費補助金	1,973,079	0	0	0	1,973,079	
[高崎市]多言語映像医療通訳システム整備費補助金	330,000	0	0	0	330,000	
[千葉市外3市]産科医等確保支援事業補助金	6,452,000	0	0	0	6,452,000	
[千葉市外1市]子ども子育て支援事業補助金	37,912	0	0	0	37,912	
[目黒区外1市]認可外保育施設におけるサービスの質維持向上支援事業補助金	569,800	0	0	0	569,800	
[横浜市外1市]周産期救急連携病院補助金	20,115,000	0	18,114,800	0	2,000,200	
[横浜市]傷病者情報共有システム経費補助金	379,000	0	0	0	379,000	
[相模市外1市]看護師等養成所運営事業費補助金	13,000,000	0	0	0	13,000,000	
[金沢市外1市]障害福祉分野の介護テクノロジー導入支援事業補助金	2,374,000	0	0	0	2,374,000	
[長野市]障害児支援体制充実のためのICT化推進事業補助金	538,000	0	0	0	538,000	
[上田市外2市町]医療従事者確保事業補助金	46,539,000	0	0	0	46,539,000	
[静岡市]第2子以降障害児入所支援利用者負担額無償化補助金	111,600	0	0	0	111,600	
[名古屋市]結核病床運営費補助金	40,825,000	0	0	0	40,825,000	
[名古屋市外11市町]医療的ケア児・重症心身障害児者福祉サービス利用等促進事業補助金	42,038,000	0	0	0	42,038,000	
[神戸市]災害対応病院設備等整備補助金	300,000	0	0	0	300,000	
[神戸市外1市]保育施設等における性被害防止対策支援事業費補助金	100,000	0	0	0	100,000	
[鳥取市]重度障がい児者支援事業補助金	6,384,400	0	0	0	6,384,400	
[浜田市]医療機器更新等補助金	10,000,000	0	10,000,000	0	0	
[浜田市]合宿等誘致事業補助金	114,000	0	0	0	114,000	
[岡山市]岡山市立金川病院政策的医療交付金	50,000,000	0	3,775,233	0	46,224,767	
[岡山市]結核健康診断費等補助金	57,120	0	0	0	57,120	
[福山市]搬送困難事例受入医療機関支援事業補助金	8,854,000	0	0	0	8,854,000	
[岩国市]研修医受入支援事業費補助金	8,050,000	0	0	0	8,050,000	
[北九州市外1市]認可外保育施設健康診断支援事業補助金	148,800	0	0	0	148,800	
[福岡市]食品廃棄物資源化費用補助金	581,400	0	0	0	581,400	
計	31,862,982,138	0	3,415,238,505	0	28,447,743,633	

12. 役員及び職員等の給与の明細

(単位:円、人)

区 分	報酬又は給与		退職手当	
	支給額	支給人員	支給額	支給人員
役 員	(4,358,400) 109,013,281	(2) 6	(0) 7,480,457	(0) 1
職 員	(47,197,712,359) 411,890,850,574	(15,021) 61,175		5,645
合 計	(47,202,070,759) 411,999,863,855	(15,023) 61,181	(0) 19,778,851,609	(0) 5,646

- (注) 1. 役員に対する報酬等の支給基準は、独立行政法人国立病院機構役員報酬規程及び独立行政法人国立病院機構役員退職手当規程によっております。
2. 職員に対する給与等の支給基準は、独立行政法人国立病院機構職員給与規程、独立行政法人国立病院機構院長給与規程、独立行政法人国立病院機構非常勤職員給与規程、独立行政法人国立病院機構非常勤医師及び歯科医師給与規程、独立行政法人国立病院機構期間医師の給与等に関する規程、独立行政法人国立病院機構治療コーディネーターの給与等に関する規程、独立行政法人国立病院機構休業等代替職員の給与等に関する規程、独立行政法人国立病院機構本部職員給与規程、独立行政法人国立病院機構本部非常勤特定専門職員給与規程及び独立行政法人国立病院機構職員退職手当規程によっております。
3. 支給人員数は、年間平均支給人員数を記載しております。
4. 非常勤の役員及び職員並びに期間職員は、外数として()で記載しております。
5. 中期計画においては、法定福利費等を含めて予算上の人件費としておりますが、上記明細には法定福利費等は含まれておりません。

13. 科学研究費補助金の明細

(単位:円、件)

種 目	当期受入れ	件 数	摘 要
文部科学省科学研究費補助金	6,705,000 (23,600,000)	29	
日本学術振興会学術研究助成基金助成金	52,256,411 (176,292,821)	311	
科学技術振興機構科学研究費	150,000 (500,000)	1	
厚生労働科学研究費補助金	45,163,000 (248,274,000)	139	
合 計	104,274,411 (448,666,821)	480	

(注) 直接経費相当額については、外数として()で記載しております。

14. 開示すべきセグメント情報

(単位:円)				
	診療事業	教育研修事業	臨床研究事業	計
I 行政コスト				法人共通
損益計算書上の費用合計	1,109,102,795,004	5,627,977,880	11,965,567,414	1,126,696,340,298
その他行政コスト				
減価償却相当額	287,441,159	0	0	287,441,159
減損損失相当額	33,904,703,027	0	0	33,904,703,027
除売却差額相当額	327,041,750	0	0	327,041,750
その他行政コスト合計	34,519,185,936	0	0	34,519,185,936
行政コスト	1,143,621,980,940	5,627,977,880	11,965,567,414	1,161,215,526,234
II 独立行政法人の業務運営に關して 国民の負担に帰せられるコスト	65,094,563,525	2,706,545,427	4,491,315,155	72,232,424,107
III 事業収益、事業費用及び事業損益				
事業収益				
医療収益	1,062,502,166,959	—	—	1,062,502,166,959
看護師等養成所収益	—	2,690,387,541	—	2,690,387,541
研修収益	—	73,395,614	—	73,395,614
研究収益	—	—	7,261,822,050	7,261,822,050
運営費交付金収益	37	3,313,933	23,142,926	26,456,896
補助金等収益	34,003,926,634	765,038,140	877,796,243	35,646,761,017
寄附金収益	655,876,542	1,685,687	237,493,884	895,056,113
資産見返物品受贈額戻入	48,763,887	0	0	48,763,887
施設費収益	67,221,466	0	0	67,221,466
財務収益	0	0	0	0
その他	7,547,345,623	40,506,799	39,135,345	7,626,987,767
事業収益合計	1,104,825,301,148	3,574,327,714	8,439,390,448	1,116,839,019,310
事業費用				
業務費	1,106,369,792,944	5,585,907,714	11,912,169,452	1,123,867,870,110
一般管理費	—	—	—	—
財務費用	0	0	0	0
その他	—	—	—	—
事業費用計	1,106,369,792,944	5,585,907,714	11,912,169,452	1,123,867,870,110
事業損益(△損失)	△ 1,544,491,796	△ 2,011,580,000	△ 3,472,779,004	△ 7,028,650,800
IV 臨時損益等				
臨時利益	8,027,665,519	115,456,812	40,075,391	8,183,197,722
臨時損失	2,733,002,060	42,070,166	53,397,962	2,828,470,188
当期純損益(△損失)	3,750,171,663	△ 1,938,193,354	△ 3,486,101,575	△ 1,674,123,266
当期総損益(△損失)	3,750,171,663	△ 1,938,193,354	△ 3,486,101,575	△ 1,674,123,266
V 総資産				
流動資産				
現金及び預金	0	0	0	0
医療未収金	182,117,553,356	0	0	182,117,553,356
その他	19,365,921,048	561,184,879	1,525,621,144	21,452,727,071
流動資産計	201,483,474,404	561,184,879	1,525,621,144	203,570,280,427
固定資産				
建物	371,615,710,831	12,607,520,176	2,377,251,500	386,600,482,507
構築物	12,405,986,235	159,054,726	5,195,470	12,570,236,431
医療器械備品	75,950,779,629	0	0	75,950,779,629
その他器械備品	16,410,969,942	45,827,246	1,299,186,899	17,755,984,087
土地	422,637,662,892	4,033,005,287	55,870,933	426,726,539,112
建設仮勘定	7,522,187,324	0	120,890	7,522,308,214
ソフトウェア	22,259,988,755	12,276,338	118,057,727	22,390,322,820
その他	2,281,378,562	12,616,348	2,263,269	2,296,258,179
固定資産計	931,084,664,170	16,870,300,121	3,857,946,688	951,812,910,979
総資産	1,132,568,138,574	17,431,485,000	5,383,567,832	1,155,383,191,406

(注1) セグメントの区分については、中期目標等における一定の事業等のもれごとの区分に基づきセグメント情報を開示しております。

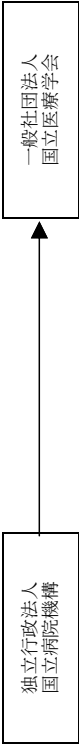
2. 事業の内容

- 「診療事業」：安心で安全な質の高い医療や政策医療を提供するための事業
- 「教育研修事業」：質の高い医療従事者(医師、看護師等)を養成・育成するための事業
- 「臨床研究事業」：医療の質の向上に貢献するための研究、治験等の事業
- 3. 事業収益のうち法人共通は、各セグメントに配賦不能な費用であり、その主なものは、土地建物等賃付料収入(1,653,127,541円)です。
- 4. 事業費用のうち法人共通は、各セグメントに配賦不能な費用であり、その主なものは、管理部門に係る費用(9,648,013,735円)です。
- 5. 総資産のうち法人共通は、各セグメントに配賦しなかった資産であり、その主なものは、現金及び預金(161,070,299,461円)、管理部門が管理する土地(5,106,055,033円)、管理部門に係る建物(1,561,323,985円)です。

15. 関連公益法人の状況
関連公益法人の概要

名称	業務の概要	役員の氏名(令和8年3月31日現在)
一般社団法人 国立医療学会	・学会、研究会、講習会等の開催 ・機関誌等の発行 ・国民医療の発展向上に関する調査、研究及びその褒賞 ・関係諸団体と連携及び交流事業 ・その他当法人の目的を達成するために必要な事業	理事長 新木 一弘 国立病院機構理事長 理事 石橋 富貴子 国立病院機構看護担当理事 理事 江面 正幸 国立病院機構仙台医療センター院長 理事 小林 佳郎 国立病院機構東京医療センター院長 理事 小寺 泰弘 国立病院機構名古屋医療センター院長 理事 松村 泰志 国立病院機構大阪医療センター院長 理事 柴山 卓夫 国立病院機構岡山医療センター院長 理事 岩崎 浩己 国立病院機構九州医療センター院長 理事 村杉 謙次 国立病院機構小諸高原病院院長 理事 重田 みどり 国立病院機構審議役 理事 永井 宏和 国立病院機構名古屋医療センター 理事 間野 博行 国立がん研究センター理事長 理事 國土 典宏 国立国際医療研究センター理事長 監事 繁田 正信 国立病院機構兵庫医療センター院長 監事 金森 勝徳 国立病院機構東京医療センター事務部長

関連公益法人との取引の関連図



当法人は、会費及び書籍代を支払っている。

関連公益法人の財務状況

法人名	資産	負債	正味財産	当期収入合計額	当期支出合計額	当期収支差額	摘 要
一般社団法人 国立医療学会	4,575,178	839,550	3,735,628	—	—	—	注

(注) 関連公益法人において収支計算書を作成していないため、当期収入合計額、当期支出合計額及び当期収支差額は記載しておりません。

関連公益法人の正味財産について

一般正味財産増減の部										指定正味財産増減の部						(単位:円)		
収益		収益の内訳		費用		費用の内訳		当期増減額	一般正味財産 前期末残高	一般正味財産 前期首残高	収益	収益の内訳		費用等	当期増減額	指定正味財産 前期末残高	指定正味財産 前期首残高	正味財産 末残高
		受取補助金 等	その他の収益			事業費	管理費					その他の費用	受取補助金 等					
9,084,203	0	9,084,203	12,693,626	7,184,616	93,020	5,415,990	△ 3,609,423	7,345,051	E=C+D	D	F	0	0	G	H=F-G	I	J=H+I	K=E+J
								3,735,628									0	3,735,628

関連公益法人との取引の状況

法人名	基本財産に対する出えん	拠出、寄附金	当事業年度において当法人が負担した会費、負担金等	関連公益法人に対する債権債務の明細	関連公益法人の事業収入	うち当法人からの収入(うち、上段:競争契約等下段:随意契約)	割合
一般社団法人 国立医療学会	0	0	909,000 未払金	金額 1,482,000	9,082,055	4,934,710 (0) (4,934,710)	54.3% (0.0%) (54.3%)

(注) 1. 上記法人に対する債務保証はありません。
2. 上記「競争契約等」とは、競争契約及び企画競争・公募のことであり、「随意契約」とは競争性のない「随意契約」のことを示しています。

16. 上記以外の主な資産、負債、費用及び収益の明細
該当事項はありません。

決算報告書

決 算 報 告 書

(令和7年4月1日～令和8年3月31日)

【独立行政法人 国立病院機構】

(単位：円)

区 分	診療事業			
	予 算 額	決 算 額	差 額	備 考
収入				
運営費交付金	0	0	0	
施設整備費補助金	0	0	0	
長期借入金等	-	-	-	
業務収入	1,091,260,331,000	1,094,239,684,006	2,979,353,006	
その他収入	0	586,605,256	586,605,256	有形固定資産の売却による収入が予算額よりも増加したこと等による
計	1,091,260,331,000	1,094,826,289,262	3,565,958,262	
支出				
業務経費				
診療業務経費	1,026,327,799,000	1,018,821,255,178	△ 7,506,543,822	
教育研修業務経費	-	-	-	
臨床研究業務経費	-	-	-	
その他の経費	0	0	0	
施設整備費	54,953,309,000	49,375,517,541	△ 5,577,791,459	整備費の支払額が予算額よりも減少したこと等による
借入金償還	-	-	-	
支払利息	-	-	-	
その他支出	8,826,000	918,361,396	909,535,396	資産除去債務の履行の支出等による
計	1,081,289,934,000	1,069,115,134,115	△ 12,174,799,885	

(注) 損益計算書の計上額と決算額の集計区分の相違の概要は、以下のとおりであります。

(1) 損益計算書の以下の科目は、決算報告書上は「業務収入」に含まれております。

- ① 診療業務収益のうち「医業収益」、「補助金等収益」、「寄附金収益」、「その他診療業務収益」
- ② 教育研修業務収益のうち「看護師等養成所収益」、「研修収益」、「補助金等収益」、「寄附金収益」、「その他教育研修業務収益」
- ③ 臨床研究業務収益のうち「研究収益」、「補助金等収益」、「寄附金収益」、「その他臨床研究業務収益」
- ④ その他経常収益のうち「財務収益」、「土地建物等貸付料収入」、「宿舍貸付料収入」、「寄附金収益」、「その他経常収益」

(2) 損益計算書の臨時利益は、決算報告書上は「その他収入」に含まれております。

(3) 損益計算書の「一般管理費」、その他経常費用のうち財務費用の「支払手数料」及び「その他経常費用」は、決算報告書上は業務経費の「その他の経費」に含まれております。

決 算 報 告 書

(令和7年4月1日～令和8年3月31日)

【独立行政法人 国立病院機構】

(単位：円)

区 分	教育研修事業			
	予 算 額	決 算 額	差 額	備 考
収入				
運営費交付金	0	0	0	
施設整備費補助金	0	0	0	
長期借入金等	-	-	-	
業務収入	3,353,562,000	3,392,895,072	39,333,072	
その他収入	0	38,148	38,148	有形固定資産の売却による収入による
計	3,353,562,000	3,392,933,220	39,371,220	
支出				
業務経費				
診療業務経費	-	-	-	
教育研修業務経費	4,625,048,000	4,705,433,829	80,385,829	
臨床研究業務経費	-	-	-	
その他の経費	0	0	0	
施設整備費	93,996,000	492,072,732	398,076,732	整備費の支払額が予算額よりも増加したこと等による
借入金償還	-	-	-	
支払利息	-	-	-	
その他支出	0	20,438,176	20,438,176	資産除去債務の履行の支出による
計	4,719,044,000	5,217,944,737	498,900,737	

(注) 損益計算書の計上額と決算額の集計区分の相違の概要は、以下のとおりであります。

(1) 損益計算書の以下の科目は、決算報告書上は「業務収入」に含まれております。

- ① 診療業務収益のうち「医業収益」、「補助金等収益」、「寄附金収益」、「その他診療業務収益」
- ② 教育研修業務収益のうち「看護師等養成所収益」、「研修収益」、「補助金等収益」、「寄附金収益」、「その他教育研修業務収益」
- ③ 臨床研究業務収益のうち「研究収益」、「補助金等収益」、「寄附金収益」、「その他臨床研究業務収益」
- ④ その他経常収益のうち「財務収益」、「土地建物等貸付料収入」、「宿舍貸付料収入」、「寄附金収益」、「その他経常収益」

(2) 損益計算書の臨時利益は、決算報告書上は「その他収入」に含まれております。

(3) 損益計算書の「一般管理費」、その他経常費用のうち財務費用の「支払手数料」及び「その他経常費用」は、決算報告書上は業務経費の「その他の経費」に含まれております。

決 算 報 告 書

(令和7年4月1日～令和8年3月31日)

【独立行政法人 国立病院機構】

(単位：円)

区 分	臨床研究事業			
	予 算 額	決 算 額	差 額	備 考
収入				
運営費交付金	0	0	0	
施設整備費補助金	0	0	0	
長期借入金等	-	-	-	
業務収入	8,079,482,000	8,522,419,638	442,937,638	
その他収入	0	0	0	
計	8,079,482,000	8,522,419,638	442,937,638	
支出				
業務経費				
診療業務経費	-	-	-	
教育研修業務経費	-	-	-	
臨床研究業務経費	11,841,861,000	11,685,812,941	△ 156,048,059	
その他の経費	0	0	0	
施設整備費	494,749,000	714,943,663	220,194,663	整備費の支払額が予算額よりも増加したこと等による
借入金償還	-	-	-	
支払利息	-	-	-	
その他支出	0	172,605,967	172,605,967	資産除去債務の履行の支出による
計	12,336,610,000	12,573,362,571	236,752,571	

(注) 損益計算書の計上額と決算額の集計区分の相違の概要は、以下のとおりであります。

(1) 損益計算書の以下の科目は、決算報告書上は「業務収入」に含まれております。

- ① 診療業務収益のうち「医業収益」、「補助金等収益」、「寄附金収益」、「その他診療業務収益」
- ② 教育研修業務収益のうち「看護師等養成所収益」、「研修収益」、「補助金等収益」、「寄附金収益」、「その他教育研修業務収益」
- ③ 臨床研究業務収益のうち「研究収益」、「補助金等収益」、「寄附金収益」、「その他臨床研究業務収益」
- ④ その他経常収益のうち「財務収益」、「土地建物等貸付料収入」、「宿舍貸付料収入」、「寄附金収益」、「その他経常収益」

(2) 損益計算書の臨時利益は、決算報告書上は「その他収入」に含まれております。

(3) 損益計算書の「一般管理費」、その他経常費用のうち財務費用の「支払手数料」及び「その他経常費用」は、決算報告書上は業務経費の「その他の経費」に含まれております。

決 算 報 告 書

(令和7年4月1日～令和8年3月31日)

【独立行政法人 国立病院機構】

(単位：円)

区 分	共通			
	予 算 額	決 算 額	差 額	備 考
収入				
運営費交付金	0	0	0	
施設整備費補助金	0	0	0	
長期借入金等	49,000,000,000	49,000,000,000	0	
業務収入	5,459,800,000	14,251,303,440	8,791,503,440	補助金等の収入が予算額よりも増加したこと等による
その他収入	11,596,000	75,470,038,999	75,458,442,999	有価証券の売却による収入が予算額よりも増加したこと等による
計	54,471,396,000	138,721,342,439	84,249,946,439	
支出				
業務経費				
診療業務経費	-	-	-	
教育研修業務経費	-	-	-	
臨床研究業務経費	-	-	-	
その他の経費	33,798,293,000	43,334,962,645	9,536,669,645	人件費の支払額が予算額よりも増加したこと等による
施設整備費	357,758,000	231,343,691	△ 126,414,309	整備費の支払額が予算額よりも減少したこと等による
借入金償還	39,672,534,000	39,568,960,818	△ 103,573,182	
支払利息	1,840,577,000	1,524,686,792	△ 315,890,208	利息の支払額が予算額よりも減少したこと等による
その他支出	285,419,000	55,399,052,553	55,113,633,553	資産運用のための預入を行ったことにより予算額よりも増加したこと等による
計	75,954,581,000	140,059,006,499	64,104,425,499	

(注) 損益計算書の計上額と決算額の集計区分の相違の概要は、以下のとおりであります。

(1) 損益計算書の以下の科目は、決算報告書上は「業務収入」に含まれております。

- ① 診療業務収益のうち「医業収益」、「補助金等収益」、「寄附金収益」、「その他診療業務収益」
- ② 教育研修業務収益のうち「看護師等養成所収益」、「研修収益」、「補助金等収益」、「寄附金収益」、「その他教育研修業務収益」
- ③ 臨床研究業務収益のうち「研究収益」、「補助金等収益」、「寄附金収益」、「その他臨床研究業務収益」
- ④ その他経常収益のうち「財務収益」、「土地建物等貸付料収入」、「宿舍貸付料収入」、「寄附金収益」、「その他経常収益」

(2) 損益計算書の臨時利益は、決算報告書上は「その他収入」に含まれております。

(3) 損益計算書の「一般管理費」、その他経常費用のうち財務費用の「支払手数料」及び「その他経常費用」は、決算報告書上は業務経費の「その他の経費」に含まれております。

決 算 報 告 書

(令和7年4月1日～令和8年3月31日)

【独立行政法人 国立病院機構】

(単位：円)

区 分	合 計			
	予 算 額	決 算 額	差 額	備 考
収入				
運営費交付金	0	0	0	
施設整備費補助金	0	0	0	
長期借入金等	49,000,000,000	49,000,000,000	0	
業務収入	1,108,153,175,000	1,120,406,302,156	12,253,127,156	
その他収入	11,596,000	76,056,682,403	76,045,086,403	有価証券の売却による収入が予算額よりも増加したこと等による
計	1,157,164,771,000	1,245,462,984,559	88,298,213,559	
支出				
業務経費				
診療業務経費	1,026,327,799,000	1,018,821,255,178	△ 7,506,543,822	
教育研修業務経費	4,625,048,000	4,705,433,829	80,385,829	
臨床研究業務経費	11,841,861,000	11,685,812,941	△ 156,048,059	
その他の経費	33,798,293,000	43,334,962,645	9,536,669,645	人件費の支払額が予算額よりも増加したこと等による
施設整備費	55,899,812,000	50,813,877,627	△ 5,085,934,373	
借入金償還	39,672,534,000	39,568,960,818	△ 103,573,182	
支払利息	1,840,577,000	1,524,686,792	△ 315,890,208	利息の支払額が予算額よりも減少したこと等による
その他支出	294,245,000	56,510,458,092	56,216,213,092	資産運用のための預入を行ったことにより予算額よりも増加したこと等による
計	1,174,300,169,000	1,226,965,447,922	52,665,278,922	

(注) 損益計算書の計上額と決算額の集計区分の相違の概要は、以下のとおりであります。

(1) 損益計算書の以下の科目は、決算報告書上は「業務収入」に含まれております。

- ① 診療業務収益のうち「医業収益」、「補助金等収益」、「寄附金収益」、「その他診療業務収益」
- ② 教育研修業務収益のうち「看護師等養成所収益」、「研修収益」、「補助金等収益」、「寄附金収益」、「その他教育研修業務収益」
- ③ 臨床研究業務収益のうち「研究収益」、「補助金等収益」、「寄附金収益」、「その他臨床研究業務収益」
- ④ その他経常収益のうち「財務収益」、「土地建物等貸付料収入」、「宿舍貸付料収入」、「寄附金収益」、「その他経常収益」

(2) 損益計算書の臨時利益は、決算報告書上は「その他収入」に含まれております。

(3) 損益計算書の「一般管理費」、その他経常費用のうち財務費用の「支払手数料」及び「その他経常費用」は、決算報告書上は業務経費の「その他の経費」に含まれております。

監事の意見

監 査 報 告

独立行政法人国立病院機構
理事長 新木 一弘 殿

独立行政法人通則法（以下「通則法」という。）第19条第4項及び同法第38条第2項の規定に基づき、独立行政法人国立病院機構（以下「法人」という。）の第22期事業年度（令和7年4月1日から令和8年3月31日）の業務、事業報告書、財務諸表（貸借対照表、損益計算書、損失の処理に関する書類（案）、行政コスト計算書、純資産変動計算書、キャッシュ・フロー計算書及びこれらの附属明細書）及び決算報告書について監査を実施し、その方法及び結果を取りまとめたので、以下のとおり報告する。

I 監査の方法及びその内容

各監事は、監査計画に基づき、理事長、理事、内部監査部門、業績評価部門その他職員（以下「役職員等」という。）と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、WEB会議を含む役員会その他重要な会議に出席し、役職員等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、本部及び施設において業務、財産の状況及び主務大臣に提出する書類を調査した。また、役員（監事を除く。以下「役員」という。）の職務の執行が通則法、個別法又は他の法令に適合することを確保するための体制その他法人の業務の適正を確保するための体制（財務報告プロセスを含む。以下「内部統制システム」という。）について、役職員等からその整備及び運用の状況について定期的に報告を受け、必要に応じて説明を求めた。

さらに、当該事業年度に係る財務諸表及び決算報告書（以下「財務諸表等」という。）並びに事業報告書（会計に関する部分）について検証するに当たっては、会計監査人が独立の立場を保持し、かつ、適切な監査を実施しているかを監視及び検討するとともに、会計監査人からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求めた。また、会計監査人から会社計算規則第131条で定める「会計監査人の職務の遂行に関する事項」と同様の事項の通知を受け、必要に応じて説明を求めた。

以上の方法に基づき、法人の当該事業年度に係る業務、事業報告書及び財務諸表等の監査を行った。

II 監査の結果

- 1 法人の業務は、法令等に従い適正に実施され、また、中期目標の着実な達成に向け効果的かつ効率的に実施されているものと認める。
- 2 内部統制システムに関する業務方法書の記載内容は相当であると認める。また、内部統制システムに関する法人の長の職務の執行について、指摘すべき重大な事項は認められない。
- 3 役員の職務の執行に関する不正の行為又は法令等に違反する重大な事実とは認められない。
- 4 財務諸表等に関する会計監査人EY新日本有限責任監査法人の監査の方法及び結果は相当であると認める。
- 5 事業報告書は、法令に従い、法人の状況を正しく示しているものと認める。

III 独立行政法人改革等に関する基本的な方針等過去の閣議決定において定められた監査事項について違反する重大な事実等は認められない。

令和 8年 6月26日

独立行政法人国立病院機構

監 事

監 事

戸田 光一
藤川 裕紀子

会計監査人の意見

独立監査人の監査報告書

令和8年6月23日

独立行政法人国立病院機構

理事長 新木 一弘 殿

EY新日本 有限責任監査法人

東京事務所

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士

山崎隆浩

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士

田中友康

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士

中田裕之

<財務諸表監査>

監査意見

当監査法人は、独立行政法人通則法（以下「通則法」という。）第39条の規定に基づき、独立行政法人国立病院機構の令和7年4月1日から令和8年3月31日までの第22期事業年度の財務諸表（損失の処理に関する書類（案）を除く。以下同じ。）、すなわち、貸借対照表、行政コスト計算書、損益計算書、純資産変動計算書、キャッシュ・フロー計算書、重要な会計方針、その他の注記及び附属明細書（関連公益法人等の計算書類及び事業報告書等に基づき記載している部分を除く。）について監査を行った。

当監査法人は、上記の財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる独立行政法人の会計の基準に準拠して、独立行政法人国立病院機構の令和8年3月31日現在の財政状態並びに同日をもって終了する事業年度の運営状況及びキャッシュ・フローの状況を、全ての重要な点において適正に表示しているものと認める。

監査意見の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる独立行政法人の監査の基準に準拠して監査を行った。独立行政法人の監査の基準における当監査法人の責任は、「財務諸表監査における会計監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定（社会的影響度の高い事業体の財務諸表監査に適用される規定を含む。）に従って、独立行政法人から独立しており、また、会計監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。この基礎には、当監査法人が監査を実施した範囲においては、財務諸表に重要な虚偽表示をもたらす独立行政法人の長又はその他の役員若しくは職員による不正及び誤謬並びに違法行為の存在は認められなかったとの事実を含んでいる。なお、当監査法人が実施した監査は、財務諸表の重要な虚偽表示の要因とならない独立行政法人の長又はその他の役員若しくは職員による不正及び誤謬並びに違法行為の有無について意見を述べるものではない。

強調事項

重要な会計方針の変更に記載されているとおり、令和8年3月27日に「独立行政法人国立病院機構の業務運営、財務及び会計並びに人事管理に関する省令（平成16年厚生労働省令第77号）」が改正されたことに伴い、当事業年度より、固定資産の減損の処理方法について、「固定資産の減損に係る独立行政法人会計基準」及び「固定資産の減損に係る独立行政法人会計基準注解」（令和2年3月26日改訂）並びに「『固定資産の減損に係る独立行政法人会計基準』及び『固定資産の減損に係る独立行政法人会計基準注解』に関するQ&A」（令和4年3月改訂）が適用されている。

当該事項は、当監査法人の意見に影響を及ぼすものではない。

その他の記載内容

その他の記載内容は、附属明細書（関連公益法人等の計算書類及び事業報告書等に基づき記載している部分）及び事業報告書（会計に関する部分を除く。）である。独立行政法人の長の責任は、その他の記載内容を作成し開示することにある。また、監事の責任は、その他の記載内容の報告プロセスの整備及び運用における独立行政法人の役員（監事を除く。）の職務の執行を監視することにある。

当監査法人の財務諸表等に対する監査意見等の対象にはその他の記載内容は含まれておらず、当監査法人はその他の記載内容に対して意見等を表明するものではない。

財務諸表等の監査における当監査法人の責任は、その他の記載内容を通読し、通読の過程において、その他の記載内容と財務諸表等又は当監査法人が監査の過程で得た知識との間に重要な相違があるかどうか検討すること、また、そのような重要な相違以外にその他の記載内容に重要な誤りの兆候があるかどうか注意を払うことにある。

当監査法人は、実施した作業に基づき、その他の記載内容に重要な誤りがあると判断した場合には、その事実を報告することが求められている。

その他の記載内容に関して、当監査法人が報告すべき事項はない。

財務諸表に対する独立行政法人の長及び監事の責任

独立行政法人の長の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる独立行政法人の会計の基準に準拠して財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正及び誤謬並びに違法行為による重要な虚偽表示のない財務諸表を作成し適正に表示するために独立行政法人の長が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監事の責任は、財務報告プロセスの整備及び運用における独立行政法人の役員（監事を除く。）の職務の執行を監視することにある。

財務諸表監査における会計監査人の責任

会計監査人の責任は、会計監査人が実施した監査に基づいて、全体としての財務諸表に不正及び誤謬並びに違法行為による重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得て、監査報告書において独立の立場から財務諸表に対する意見を表明することにある。虚偽表示は、不正及び誤謬並びに違法行為により発生する可能性があり、個別に又は集計すると、財務諸表の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

会計監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる独立行政法人の監査の基準に従って、監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- ・ 不正及び誤謬並びに違法行為による重要な虚偽表示リスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽表示リスクに対応した監査手続を立案し、実施する。監査手続の選択及び適用は会計監査人の判断による。さらに、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。
- ・ 財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、会計監査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、監査に関連する内部統制を検討する。

- ・ 独立行政法人の長が採用した会計方針及びその適用方法の適切性、並びに独立行政法人の長によって行われた会計上の見積りの合理性及び関連する注記事項の妥当性を評価する。
- ・ 財務諸表の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる独立行政法人の会計の基準に準拠しているかどうかとともに、関連する注記事項を含めた財務諸表の表示、構成及び内容、並びに財務諸表が基礎となる取引や会計事象を適正に表示しているかどうかを評価する。
- ・ 独立行政法人の長又はその他の役員若しくは職員による不正及び誤謬並びに違法行為が財務諸表に重要な虚偽表示をもたらす要因となることに十分留意して計画し、監査を実施する。

会計監査人は、監事に対して、計画した監査の範囲とその実施時期、監査の実施過程で識別した内部統制の重要な不備を含む監査上の重要な発見事項、及び独立行政法人の監査の基準で求められているその他の事項について報告を行う。

＜損失の処理に関する書類（案）、事業報告書（会計に関する部分に限る。）及び決算報告書に対する報告＞

会計監査人の報告

当監査法人は、通則法第39条の規定に基づき、独立行政法人国立病院機構の令和7年4月1日から令和8年3月31日までの第22期事業年度の損失の処理に関する書類（案）、事業報告書（会計に関する部分に限る。）及び決算報告書について監査を行った。なお、事業報告書について監査の対象とした会計に関する部分は、事業報告書に記載されている事項のうち、会計帳簿の記録に基づく記載部分である。

当監査法人の報告は次のとおりである。

- （１） 損失の処理に関する書類（案）は、法令に適合しているものと認める。
- （２） 事業報告書（会計に関する部分に限る。）は、独立行政法人国立病院機構の財政状態、運営状況及びキャッシュ・フローの状況を正しく示しているものと認める。
- （３） 決算報告書は、独立行政法人の長による予算の区分に従って、一定の事業等のまとめりにごに決算の状況を正しく示しているものと認める。

独立行政法人の長及び監事の責任

独立行政法人の長の責任は、法令に適合した損失の処理に関する書類（案）を作成すること、財政状態、運営状況及びキャッシュ・フローの状況を正しく示す事業報告書を作成すること、並びに独立行政法人の長による予算の区分に従って、一定の事業等のまとめりにごに決算の状況を正しく示す決算報告書を作成することにある。

監事の責任は、財務報告プロセスの整備及び運用における独立行政法人の役員（監事を除く。）の職務の執行を監視することにある。

会計監査人の責任

会計監査人の責任は、損失の処理に関する書類（案）が法令に適合して作成されているか、事業報告書（会計に関する部分に限る。）が財政状態、運営状況及びキャッシュ・フローの状況を正しく示しているか、並びに決算報告書が独立行政法人の長による予算の区分に従って、一定の事業等のまとめりにごに決算の状況を正しく示しているかについて、独立の立場から報告することにある。

＜報酬関連情報＞

当監査法人及び当監査法人と同一のネットワークに属する者に対する、当事業年度の独立行政法人の監査証明業務に基づく報酬及び非監査業務に基づく報酬の額は、事業報告書の「7. 持続的に適正なサービスを提供するための源泉（2）役員等の状況②会計監査人の名称及び報酬」に記載されている。

利害関係

独立行政法人と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上